

## 宇治中学校ブロック

### 1 小中一貫教育目標

ふるさと宇治を愛し、未来を展望し、たくましく生きる児童生徒の育成

### 2 具体的な取組

#### I 「主体的・対話的で深い学び」と「インクルーシブ教育」の一体的な推進

- 全国学調・府学調の分析・確認
- ICTの効果的な活用
- 公開授業を含む合同授業研究
- 特別支援教育の支援・手立てを含めた小学校から中学校へのきめ細かな引継ぎ
- 研究テーマ「学力向上のための、学級経営を基盤とした授業改善」の共有

#### II 保幼小から小中一貫教育で培う「育ちと学びの連続性」による人づくり

- 小中学校間の丁寧な引き継ぎ
- 実態交流
- 各校の授業参観
- 就学前を含む地域の関係機関との連携
- コーディネーター会議の定期的な開催
- 小中一貫教育の推進に向け、課題解決に向けた具体的な研究・研修

#### III 家庭・学校・地域が協働した取組の推進

- 全国学調・府学調の分析・確認
- ICTの効果的な活用
- 公開授業を含む合同授業研究
- 特別支援教育の支援・手立てを含めた小学校から中学校へのきめ細かな引継ぎ
- 研究テーマ「学力向上のための、学級経営を基盤とした授業改善」の共有

## 北宇治中学校ブロック

### 1 小中一貫教育目標

- ・自ら考え、自発的に表現できる子（知）
- ・人と地域とのつながりの中で豊かな心を育て、他を大切にできる子（徳）
- ・運動に親しむことにより、楽しく生活できる子（体）

### 2 具体的な取組

#### I 「主体的・対話的で深い学び」と「インクルーシブ教育」の一体的な推進

- ・総会の際に、各校における授業方法等の工夫や、各校の児童・生徒などの実態を知り、学力の向上や小中連携に活かす。目指す生徒像の共有を行う。
- ・児童会・生徒会による合同行事（9/4に北宇治中にて中学生の合唱リハーサルを小学生が見学）や半日体験入学の取組、小学校での職場体験の実施等により小中連携を推進する。
- ・小倉小の授業を北宇治中教員が参観し、小中一貫の視点から授業改善に活かす。

#### II 保幼小から小中一貫教育で培う「育ちと学びの連続性」による人づくり

- ・夏季研修において、城陽支援学校より講師を招いて発達障害や不登校児童生徒の対応に関する合同研修会を行う予定である。小中学校共に近年急増している不登校や発達障害の児童生徒について合同で研修を行うことで、それぞれの教員が細やかな指導を行うためのきっかけにする。
- ・小学生体験入学を実施し、中学校の紹介や部活動の体験を通じて、小中間の児童生徒同士の交流を図る。
- ・自ら考え、行動できる児童生徒の育成を目指す。
- ・職員に人権意識の向上を図るとともに、人権問題への理解や認識を深めることにつなげられた。

#### III 家庭・学校・地域が協働した取組の推進

- ・地域クリーン運動を小中合同で行うなど活性化を目指す。

# 令和8年度 各中学校ブロック小中一貫教育推進計画概要

## 榎島中学校ブロック

### 1 小中一貫教育目標

豊かな人間性と未来を創造する子どもの育成  
○心身共に健康で、明るく活動する子  
○意欲的に学び、深く考え、豊かに表現する子  
○地域でつながり、共に支え合い、高め合う子

### 2 具体的な取組

#### I 「主体的・対話的で深い学び」と「インクルーシブ教育」の一体的な推進

中学校ブロックで授業作り部会をつくり、授業参観を行い、交流する。また各校の生徒の学力の伸びや特徴を理解する学力分析を行い、授業等に活かす。特に今年度は「精緻化」を育成する授業が伸びを左右すると仮説を立て、授業作り、実践を行っている。

第2次産業に携わる企業が多くある地域ということを生かし、キャリア教育の促進を意識し、体系的に宇治学を進める。地域や地元に関心を持つ生徒育て、自己の将来を見据えることのできる宇治学を実践する。

#### II 保幼小から小中一貫教育で培う「育ちと学びの連続性」による人づくり

中学校ブロックで授業作り部会をつくり、授業参観を行い、交流する。また各校の生徒の学力の伸びや特徴を理解する学力分析を行い、授業等に活かす。特に今年度は「精緻化」を育成する授業が伸びを左右すると仮説を立て、授業作り、実践を行っている。

第2次産業に携わる企業が多くある地域ということを生かし、キャリア教育の促進を意識し、体系的に宇治学を進める。地域や地元に関心を持つ生徒育て、自己の将来を見据えることのできる宇治学を実践する。

#### III 家庭・学校・地域が協働した取組の推進

共働き家庭が多い実態を踏まえ、学校と協力して教育活動をする方法にはどのようなものがあるか、保護者や地域との連携を密にし、今の時代に合った教育を行う。地域の方とも体験学習等の機会に講師として参加してもらい、交流の機会を持つ。学校運営協議会などを中心とする地域や保護者から応援される組織づくりを進める。

## 西小倉中学校ブロック

### 1 小中一貫教育目標

互いを尊重し合い 主体的に行動し 未来を切り拓く児童生徒の育成  
～ 学び つながり しなやかに～

### 2 具体的な取組

#### I 「主体的・対話的で深い学び」と「インクルーシブ教育」の一体的な推進

●児童生徒の学力分析。  
●小中合同研修会を行い、児童生徒の強み、弱み、実態の背景にあるものと今後の支援についての協議を行う。

●中学生が取り組んだ課題解決型学習を小学生に発表する。

●ラーニングコーディネーターによる出前授業。（学習について）

●「課題解決型の学習」についての小中合同研修。

#### II 保幼小から小中一貫教育で培う「育ちと学びの連続性」による人づくり

●小中合同生徒指導部会の実施により、児童生徒の細やかな情報共有、連携を行う。

●小中での縦割り活動の実施。

●小中合同研修会を行い、児童生徒の現状分析、指導・支援の方向性について共通理解を図る。

●ラーニングコーディネーターによる出前授業。（生徒指導について）

●「小学校での生活について」保育所に出前講座を実施。

#### III 家庭・学校・地域が協働した取組の推進

●地域懇談会の実施

●CSコーディネーターと連携し、地域の方の特技を活かした講座の実施

●保護者、地域の方と児童・生徒が対話を行う地域ふれあい懇談会の実施

# 令和8年度 各中学校ブロック小中一貫教育推進計画概要

## 西宇治中学校ブロック

### 1 小中一貫教育目標

「自立への学びと社会性の育成を推進し、心豊かでたくましい人間を育てる」  
～自己理解を深めて豊かに表現し、共感的に他者理解できる児童生徒の育成～

### 2 具体的な取組

#### I 「主体的・対話的で深い学び」と「インクルーシブ教育」の一体的な推進

- ・第1回NIS合同研修会において、「社会情動的能力（SEL）」や「道徳教育の中で話し合い活動を通じ社会情動的能力をどのように高めていくのか」について大学院教授の荒木先生にご教授いただき、「授業における話し合い活動」に焦点を当てて、3校が研究を進めていく。
- ・第3回NIS合同研修会において、第1回NIS合同研修会を基に、道徳の研究授業を行うことで、「授業における話し合い活動」について理解と実践研究を深めていく。
- ・2月に小学校6年生を対象とした新入生学習説明会を行い、中学校の学習へスムーズな接続を促す。
- ・ラーニングコーディネーターが定期的に小学校の道徳に入る。

#### II 保幼小から小中一貫教育で培う「育ちと学びの連続性」による人づくり

- ・第2回NIS合同研修会において、3校が各校で行った全国学力・学習状況調査のデータ分析を共有することで、系統的・継続的な児童生徒理解につなげていく。また、その結果を踏まえ、各校で学びのパスポートの分析を行うことで、個に応じた指導や支援につなげていく。
- ・第3回NIS合同研修会において、神明小学校での授業研究を通して、小学校の現状を把握・共有する。
- ・11月に小学校6年生を対象とした部活動体験を行うことで、中学校生活へのスムーズな接続を促す。
- ・実施時期は未定だが、各小学校において、中学校入学に向けて制服の着こなしについての講演を行い、制服を正しく着ることの意義を学ぶ。
- ・ラーニングコーディネーターが2小学校で、出前授業を行う。

#### III 家庭・学校・地域が協働した取組の推進

- ・6月、10月、2月に3校それぞれでNISあいさつ運動を行い、また当日にPTAと合同であいさつ運動を合わせて行うことで、保護者との連携を強める。
- ・新入生保護者説明会において、保護者向けの情報モラル教室を在校生および新入生の保護者対象に行うことで、情報モラルに対する共通認識を持ってもらう。

## 南宇治中学校ブロック

### 1 小中一貫教育目標

夢や希望を持ち、未来をたくましく生きぬく児童生徒の育成

### 2 具体的な取組

#### I 「主体的・対話的で深い学び」と「インクルーシブ教育」の一体的な推進

- ・小中合同会議で「振り返りシート」、「単元計画」、「目標設定シート」などの交流を行う。南宇治ブロック間で交流を行い、学習習慣の確立につながる手立てを検討する。
- ・各小中学校で「インクルーシブ教育」についての研修を行い、合同会議で各校での実践交流をする。
- ・「目標に向けた姿勢」をテーマに研修を行い、中学校で公開授業を実施する。授業参観後の事後研修会を通して、南宇治ブロック全体で授業改善につなげる。
- ・地域懇談会で宇治学の発表を行う。

#### II 保幼小から小中一貫教育で培う「育ちと学びの連続性」による人づくり

- ・年3回の合同挨拶運動を実施する。事前に児童会生徒会でZoomでの会議・交流を行う。
- ・小学区2年生を対象として「中文拳武術体験」を実施する。
- ・11月の「6年生 体験入学及び入学説明会」で中学校の説明、体験授業、部活動体験を実施する。
- ・3学期に小小連携の取組として「帰国外国人児童生徒理解学習」を実施する。
- ・3月に各小学校で中学校生徒指導主任による中学校理解学習を実施する。

#### III 家庭・学校・地域が協働した取組の推進

- ・地域懇談会で、「中学校からの報告」、「小中学校の状況報告」、「京都医療少年院専門官 宇治黄檗学園育友会長 青木英明様の講演」を実施する。
- ・地域清掃ボランティアを実施する。
- ・中学校で宇治学の発表会を実施、取組を家庭・地域へ発信する。

# 令和8年度 各中学校ブロック小中一貫教育推進計画概要

## 広野中学校ブロック

### 1 小中一貫教育目標

夢や希望をもって未来を切り拓く児童生徒の育成  
自ら学び考える力 人間関係を築く力 粘り強くやり抜く力 自分の生き方を求める力

### 2 具体的な取組

#### I 「主体的・対話的で深い学び」と「インクルーシブ教育」の一体的な推進

- ・ 中学1年生による小学1年生への紙芝居の読み聞かせ学習の実施
- ・ 中学校ブロック2小学校に「家庭学習の手引き」の作成・配布
- ・ 小6児童への春休みの課題（宿題）の作成（小6の3月に小学校で配布し、中1の4月に中学校で回収）
- ・ 中学校ブロック夏季研修における、小中学校教員による授業づくり・内容の交流（小学校での手立ての方法や中学校での各教科の授業の進め方などを相互に交流し学ぶ。）

#### II 保幼小から小中一貫教育で培う「育ちと学びの連続性」による人づくり

- ・ HOTMEETING（3校合同児童会本部役員・生徒会本部役員の会議）
- ・ 福島ひまわり里親プロジェクトの実施
- ・ 小学校での中学2年生の職場体験学習の実施
- ・ 中学2年生の職場体験学習時に中学校生活について話を小学6年生に行う。
- ・ HOTSTUDY（小学6年生の中学校半日入学（小小交流・体験授業））の実施
- ・ 中学1年生による小学1年生への紙芝居の読み聞かせ学習の実施
- ・ 小学6年生による中学校の部活動見学の実施

#### III 家庭・学校・地域が協働した取組の推進

- ・ HOOP（宇治ひろの学園小中一貫教育だより）の発行
- ・ 中学校ブロックでのあいさつ運動（各学期1回（3日間））
- ・ 中学校ブロック3校の巡回作品展（保護者の参観や面談に合わせて各校に展示）
- ・ 学校HPを活用した小中交流の様子の掲載

## 東宇治中学校ブロック

### 1 小中一貫教育目標

ブロック小中一貫教育目標：  
「命を輝かす人間」  
めざす子ども像：  
・ 自ら学び学習する児童生徒  
・ たくましく生き抜く児童生徒  
・ 思いやりのある児童生徒  
・ 健康や安全を考える児童生徒

### 2 具体的な取組

#### I 「主体的・対話的で深い学び」と「インクルーシブ教育」の一体的な推進

- ①家庭学習  
・ 時代に合わせた「家庭教育の手引き」の見直しをする。
- ②授業づくり  
・ 東宇治中ブロック内で授業参観をし、系統性・継続性を意識した授業づくりをおこなう。
- ③学力分析  
・ 東宇治中ブロック各校の学力分析をする。夏季研修会で交流する。

#### II 保幼小から小中一貫教育で培う「育ちと学びの連続性」による人づくり

- ①東宇治中学校授業参観・小中合同研修会（年3回）  
・ 授業参観 ・ テーマ別交流会
- ②「私たちの学び」オンライン交流会  
・ 岡屋小・三室戸小・南部小（オンライン交流）  
・ 多くの児童が同じ中学校に通うことになるが、その前に交流することで、中一ギャップを少しでも解消するきっかけにしたい。
- ③東宇治中学校からの職場体験の受け入れ。  
・ 中学生になった立場から、小学校という職場を見て感じ、学ぶ機会とする。
- ④『教えて先輩！東宇治中学校ってどんなトコ？』  
・ 小学校から中学校への質問を提出・中学生のビデオレター作成・小学生による視聴（3月頃）  
・ 6年生は中学校に入学に向け、中学校生活や学習についての疑問や悩みを解消し、見通しを持ち、準備する。

#### III 家庭・学校・地域が協働した取組の推進

- ①地域懇談会  
・ 地域、保護者（家庭）、学校の代表者が集まり、意見交流、実態交流をおこない連携を深める機会とする。
- ②青少協によるお祭り「なんぶのもんじゃ」  
・ 中学生も出店する。小学生も参加し、育った地域で見守ってもらっている地域の方と交流を深め、愛着をはぐくむ機会とする。

# 令和8年度 各中学校ブロック小中一貫教育推進計画概要

## 木幡中学校ブロック

### 1 小中一貫教育目標

目標…故郷（ふるさと）で夢や希望をはぐくみ、未来を切り拓く児童・生徒  
目指す子ども像  
①意欲を持ち、学び続ける児童・生徒（知）  
②思いやりにあふれ、ともに伸びる児童・生徒（徳）  
③健やかな心と体をもった児童・生徒（体）  
④ちがいを認め、命を大切にす児童・生徒（人権）  
⑤ふるさとを愛し、つながりを大切にす児童・生徒（地域）

### 2 具体的な取組

#### I 「主体的・対話的で深い学び」と「インクルーシブ教育」の一体的な推進

・「めあて」、「ふりかえり」を大切に、支援が必要な児童・生徒に対しても、「1時間の授業のポイントを理解」し、授業後のふりかえりでは、「学んだことの確認」ができる授業の雰囲気を作っていく。  
・ICT端末等を効果的に活用し、視覚に訴えることで、インクルーシブ教育を推進していく。  
・AIドリルを活用し、個別最適な学びを深める。  
・宇治学の防災学習の中で、自身の防災意識の向上のみならず、自身の住んでいる地域を中心に、災害が起こった時に適切な行動をとれるように、学習を深めていく。  
・キャリア教育の中では、地域の事業所へ赴き、仕事をするの大変さを学び、将来、宇治の地で貢献できるような人材を育てる。  
・地元宇治の魅力の一つである「宇治茶」にスポットを当て、それについて調べたことを授業参観等で発表をし、ふるさと宇治について、より一層愛着を持つ。  
・地元宇治のフィールドワークや様々な体験活動を通して、「ふるさと宇治の魅力」を伝えたり、「すべての人にやさしいまちの実現」をしていくためどうすればよいかを様々な思考ツールを使って考えを深める。

#### II 保幼こ小から小中一貫教育で培う「育ちと学びの連続性」による人づくり

・保幼こ小中連携をしていく中で、系統的で継続性のある指導を心掛けることで、進学をした際に、様々な指導の中でギャップを感じる事が少なくなり、児童・生徒との関係性をより一層高められるように、連携を密にする。  
・小中合同研修会など中学校ブロックで集まる際に、成長した姿等を小中で共有することで、児童・生徒の人間性をさらに伸ばすために必要なことは何かを考えていく。

#### III 家庭・学校・地域が協働した取組の推進

・年1回の青少年健全育成協議会主催の「おもしろいやらんか木幡」を中心に、学校と地域と保護者がつながれる場所を作る。  
・通常の授業参観や体育大会・文化祭などを保護者だけでなく、地域の方々にも来ていただく機会を作ることで、地域に貢献をしていく。

## 黄檗中学校ブロック

### 1 小中一貫教育目標

□ みんなで、一歩先にある姿を目指し挑むことができる  
高い志(自分を高める力)  
□ みんなで、思いやりのある言動をとることができる  
協調・やさしい心(他者とつながる力)  
□ みんなで、あきらめずに進むことができる強い意志  
(自分と向き合う力)

### 2 具体的な取組

#### I 「主体的・対話的で深い学び」と「インクルーシブ教育」の一体的な推進

「探究的な学び」の指導についての実践的探究  
・生活科・総合的な学習の時間を中心とした各教科とのつながりを明確にした年間指導計画を作成・改善する。  
・「探究的な学び」の土台として、9年間の系統性を意識しながら効果的な基礎学力定着の取組を計画・実施する。  
・教員自身が「主体的・対話的で深い学び」を体験できるように、「探究的な学び」を中心に各自で研究したいテーマ(教科・領域)を設定し、研究を進める。実践レポートを作成し、教員間で交流する機会を設定する。  
・「インクルーシブ教育」を意識した指導法の改善  
・「インクルーシブ教育」の理論を学ぶ研修を実施し、「探究的な学び」と一体的に指導できるような指導法を工夫して学習指導案を作成する。

#### II 保幼こ小から小中一貫教育で培う「育ちと学びの連続性」による人づくり

小中連絡会 ・小中学校の現状把握・課題の共有・連携した指導ができるようにする。  
小中合同夏研修 ・発達支持的生徒指導、児童理解を中心とした特別支援的手法、学力・学習状況調査の分析等の研修を全小中教職員で実施する。  
大人版OBAKUミーティング(小中合同研修) ・「めざす子ども像」の実現に向けて実態交流と改善案の検討をする。  
「めざす子ども像」の実現に向けた各部の取組 ・小中教員で構成された校務分掌各部で、「めざす子ども像」の実現のためにできることを検討して実際に取り組む。また総括と改善案(次年度計画)の作成までを今年度内に行う。  
情報の共有による一体的な生徒指導 ・9年間の継続的な生徒指導を進めるため、小学校・中学校それぞれの課題を共有する。そのため、小学校の教頭が中学校の生徒指導部に毎回参加し、定期的に小学校とも情報共有をはかる。学園として一体的な生徒指導ができるようにする。  
OBAKUウォーカー ・4月に1年生が学校に親しめるように9年生(中学3年生)が校舎内を案内したり一緒に遊んだり、紙芝居の読み聞かせをしたりする。  
OBAKUミーティング ・1月に6年生が安心して中学校に進学できるように7年生(中学1年生)が中学校生活について紹介したりアドバイスをくれたりする。中学校教員による授業体験や部活動体験もする。

#### III 家庭・学校・地域が協働した取組の推進

コミュニティ・スクール  
・計画的に学校運営協議会を開催し、小中一貫教育の状況確認をする。  
・ホームページ等を活用し、学園全体の取組の積極的な広報活動を行う。  
・各教科・クラブ活動等における学校ボランティアの活用を進める。